

美 楽 舎

B i G a K u S Y a
Newsletter

No. 310

会報 第310号(平成29年8月発行)

東京都中央区銀座1-13-4 大和銀座ビル6F
K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004

Mail kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP <http://bigakusya.com>

第334回(7月)例会

「ボストン美術館の至宝展」鑑賞

2017年7月30日(日)

参加者: 会員2名

会場: 東京都美術館



【幹事報告 片岡靖雄】

上野の東京都美術館で開催中の「ボストン美術館の至宝展」を鑑賞しました。ここ一年の中で一番見るべき展覧会と私は確信しております。是非10月9日まで時間は十分あります。是非上野までお出かけ下さい。

○初めに

今回のボストン美術館展は私としては兼ねてから興味を持っているポイントが2つありました。その一つは西洋で評価される日本画は何かということ。2つ目は欧米に遅れコレクションを始めた米国はコレクションの中心はルネサンス等のイタリア絵画ではなく印象派の

絵画が多いではないかとのことでした。

鑑賞当日は日曜日にしては混雑が少なく、尚且つ気心知れた北林さんと2人でゆっくりと鑑賞できました。

展示室は1、古代エジプト美術 2、中国美術 3、日本美術 4 フランス美術 5、アメリカ絵画 6、版画・写真 7 現代美術の7室に分かれておりました。

○フランス絵画

ボストン美術館は140年前(1876年)にアメリカ・ボストンに、個人篤志家の寄贈品を集め開館しました。

(日本で言えば大原美術館・ブリジストン美術館などと同じ)

現在の所蔵数50万点の中からとりわけ質の高さを誇るのがフランス近代絵画と日本美術を中心に80

点の秀作が展示されてました。特にゴッホの「郵便配達人——」

と「オーギュステヌ・ルーラン夫人」の夫婦を描いた2つ絵画はゴッホ流の独特の原色使いは、

風景画は勿論、人物画でも優れた才能を感じました。

又モネの作品も「睡蓮」「ルーアン大聖堂」の代表昨が

展示されており見応え十分でした。又今回のフランス

絵画は砂糖で財をなしたスポルディングからの寄贈作品が多く、

言わばフランス絵画は当時の正真正銘の「現代美術」その物でした。

新聞によれば、日本人の絵画で見たい画家の順番では、